



ラポール 6

第8回 よい夫婦の日・ふれあいの日
社団法人倫理研究所 宮城県倫理法人会



“第8回 よい夫婦の日・ふれあいの日”イベントでの一幕。シェークハンドゲーム。

- 3年越しの“第8回よい夫婦の日イベント”大盛會に開催！
- 宮城県初の“純粹倫理学習會”が開催されました。
- 恒例の第5回MSコンテストが盛會に開催されました！
- 第七期 宮城倫理経営塾第3講が開講されました！



宮城県倫理法人会 活動理念

- 一、倫理経営を通して活力ある企業を創る
- 一、倫理運動を通して明るく豊かな地域社会を創る
- 一、倫理活動を通して未来を担う新進気鋭の人材を創出する

ごあいさつ

宮城県倫理法人会 会長 原田 善征



「時は金なり」という諺があります。栞の1条にあります。一般的には時間というものは、お金と同じように貴いものだと解釈されています。しかし時間というものは金銭と同じでしょうか。お金や土地や建物などは、一時的に失ったとしても、また取り戻すことができます。けれどもどんな大金を積んでも逆立ちしても、絶対に取り戻すことができないのは時間です。現に「いま」この瞬間、時は刻々と過ぎ去っています。この過ぎ去っていく時間はお金で買うことはできません。

私の知人にガンの患者がいます。彼に会いました。やせ細った彼がこんなことを言いました。「社長、いま私がいちばん欲しいものは何だか分かりますか？それは時間ですよ。私の残された時間はあとわずかです。やり残したことがいっぱいあるんですよ。」と、恨めしそうな目で語りました。彼の心の奥底から出た叫びでした。時間の大切さを思い知らされました。

古人の名言で享保元年に書かれた「葉隠(山本常朝)」に出てくる一節です。

「只今が其時其時が只今也」

其時とは「重大な時」という意味です。

いまというこの瞬間を大事にしろ、という教訓です。「いま」という時間を活用しなければ、時は速やかに過ぎ去っていくのです。だから「いま」が、やるときなのです。躊躇したりグズグズしてはいけません。優柔不断は、貴重な時間を捨てているようなものです。いまよりももっといい時機があとでやってくると思っているから、いつまでたっても行動しない。チャンスの神様をご存知でしょうか。栞の3条にこの神様は前頭部(ひたいの上の部分)だけに髪の毛が生えています。後頭部だけを見ているのかもしれませんが。次のチャンスを持ってばかりいて、いつまでたっても行動しません。チャンスの神様が目の前を通っているのに、神様の前髪をつかもうとしないのです。そのときこそがチャンスなのに。

成功者は目の前にきたあらゆる機会をとらえ、断処する人、一度こうと目的を定めたら、終始一貫やりぬく人、運命を切り開くは己である、己が一切で努力がすべてである。

3年越しの“第8回よい夫婦の日イベント” 大盛會に開催！

■日時：平成24年4月22日（日）18：00～20：30
■場所：ホテルレオパレス仙台 B1F イベントホール

“第8回よい夫婦の日・ふれあいの日”イベントは、前回の平成21年に開催以来、未開催となっておりますが、去る4月22日（日）にホテルレオパレス仙台に於いて、3年越しに開催となりました。

当日は、会員とその家族、総勢78名のご参加をいただき、ご夫婦またはご家族の皆様には、休日の楽しいひとときをお過ごしいただきました。

恒例であります「ラブレター朗読」では、県副幹事長の沢田元一郎ご夫妻とさくら相談役の野口敬志ご夫妻の二組のご夫妻にご登場いただき、事前にご準備いただいた妻への感謝をしたための“夫から妻へのラブレター”を朗読にてご披露いただき、客席からは感動の涙を誘ったところです。

続いて、お遊びとして、一つ目は、目隠しした夫が6名の奥様方と順次握手し、自分の妻を当てるという“シェークハンドゲーム”では、12組のご夫妻に出場いただいたうち5組が正解するという、難ゲームとなりました。

二つ目は、全ご夫婦が参加し、ご夫婦に共通した難易度3段階の問題に解答していただき、ご夫婦の「解答表」を突合せて採点のうえ、高得点となった上位3組を表彰するという、“ラブフィーリングゲーム”（ご夫婦相性ゲームと称して）では

『優勝 仙南 結城礼子 幹事ご夫妻』
『準優勝 仙台中央 山崎賢治 会員ご夫妻』
『第三位 仙南 佐藤智明 会長ご夫妻』

という結果でしたが、何故か緊張（Q初キスの場所は？ Qプロポーズの言葉は？）と笑いの入り混じった複雑なゲームとなりました。

（「解答表」はご夫婦に返却しております）

また、アトラクションとして県親睦部の勝又久美子副部長の主宰する『勝又劇団』による“今夜はミュージカル”では、ソプラノ歌手4名のご出演により、唄あり、そしてミュージカルありの感動のディナーショーを満喫しました。

長いようで、あっという間の2時間半は、涙と笑い、そして感動を満喫したイベントとなりました。

このイベントにご参加いただきました皆様には御礼を申し上げますとともに、事前の企画、そして当日の準備やゲームなどの進行、後片付けと運営いただいた単会の親睦部長はじめ役員の皆様には深く感謝を申し上げます。

宮城県倫理法人会 普及拡大委員会 親睦部

＜正解したご夫妻＞

- ① 仙南 佐藤智明 会長ご夫妻
- ② 大崎 大友新 幹事、宮野真紀子様カップル
- ③ 仙台泉 伊藤長作 県普及拡大委員長ご夫妻
- ④ 仙台太白 佐藤守 経営塾塾頭ご夫妻
- ⑤ 仙台広瀬 米田公男 幹事ご夫妻



宮城県初の“純粋倫理学習会”が開催されました。

■日時：平成24年5月11日（金）16：00～18：00 ■場所：KKRホテル仙台 3F朝日の間



宮城県倫理法人会としては初となる“純粋倫理学習会”は、役員の皆様に純粋倫理の理解を深めていただくことを目的として、去る5月11日金曜日、(社)倫理研究所 法人局普及事業部 北海道・東北方面 荒木良仁方面長を講師にお迎えし、県から原田会長他、県役員20名、15単会からは役員45名、総勢65名参加のもとに開催いたしました。



はじめに、純粋倫理の基本である「万人幸福の栞」の成り立ちを理解していただくため『万人幸福の栞解説DVD』“新世の発見”を約40分間視聴していただきました。



休憩を挟んで、荒木方面長による「万人幸福の栞」の学び方や栞の実践のポイントについて、テキストにもとづき1時間強に亘る講義がありました。



単会では毎月「幹部研修テキスト」をもとに幹部研修を開催し、純粋倫理の理解と実践力向上に向けた研修会を実施してはおりますが、あらためて「万人幸福の栞」の原点に触れていただき、意義ある勉強会となりました。

ご参加された皆様には、この機に一層の純粋倫理の実践を重ね、学びを深めていただくことをご期待しております。

宮城県倫理法人会 研修委員会

恒例の第5回MSコンテストが盛会に開催されました！

■日時：平成24年5月17日（木）15：00～17：30 ■場所：ホテルレオパレス仙台 B1F イベントホール

第5回目を数えたMSコンテストは、去る5月17日(水)ホテルレオパレス仙台に於いて、17単会がエントリー、各単会3名の実演者と応援者、そして審査員として原田会長、佐藤副会長、櫻井副会長、保坂幹事長、松谷事務長の5名の県役員、県MS委員会の沢田副幹事長、三塚委員長、松浦副委員長含め、総勢73名の参加のもとに盛会に開催されました。

コンテストでは、松浦月子MS副委員長の進行のもと、佐藤副会長の開会のことばでスタートし、原田善征会長のごあいさつを頂戴し、三塚MS委員長によるコンテストにおける注意事項などの概要説明が行われ、いよいよ、事前に決定していた発表順番どおり、

仙台はせくらチームを皮切りに最終のくりはらチームまで17単会チームが共通のコンテスト版「MS進行マニュアル」にもとづき、5分間の持ち時間で熱のこもったモーニングセミナー実演が行われました。

コンテストの審査では、“元気良く、姿勢良く、明るく張りのある発声、良い間合い(テンポ、タイミング)そしてキビキビした所作動作“の細部を審査項目として、県役員5名の審査員により実演内容を公平公正に審査が行われ、結果、審査員による各チームの採点を集計のうえ、最終審議を踏まえ、受賞チームおよび受賞者が決定したところです。

なお、受賞の詳細は次頁のとおりです。

【団体賞】

優勝：大崎チーム



準優勝：仙台中央チーム



第三位：仙南チーム



<参考>

第四位：仙台青葉チーム、第五位：白石蔵王チーム、第六位：仙台若林チーム、第七位：仙台宮城野チーム、第八位：登米市チーム、仙台広瀬チーム、第十位：石巻市チーム

【個人賞】

ベスト進行者賞：

白石蔵王チーム 沼倉 昭仁様



ベスト挨拶リーダー賞：

仙台青葉チーム 佐藤わか子様



団体賞、個人賞のいずれも僅差で順位が決定しておりますが、これも各チームが事前に練習を重ねるなど、真剣に取り組まれた結果であり感謝を申し上げます。受賞されましたチームの皆様、誠にありがとうございます。惜しくも上位入賞を逸したチームの皆様、次回リベンジをご期待申し上げます。

実演された皆様、応援いただいた皆様、厳正な審査を行っていただきました審査員の皆様、第5回MSコンテストの盛会にご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

宮城県倫理法人会 MS委員会



.....

第七期 宮城倫理経営塾第3講が開講されました!

■日 時：平成24年4月21日(土)～22日(日) ■場所：仙台 茂庭荘研修室
 ■参加者：39名(内受講生19名) ■司会：千坂剛久副塾頭

初めに仙台中の柴田義喜専任幹事の挨拶指導の後、千坂副塾頭による受講心得の確認、そして佐藤塾頭の挨拶と今回のねらいをお話いただき、講義に入りました。

櫻井副塾頭からは繁栄の倫理を、そして及川副塾頭からは、会社の現状認識の為のSWOT分析を講義していただきました。

その他の実習のほとんどは、経営理念の検討並びに発表に当てられました。講義の間には、川又久萬名誉専任研究員、村上力男前塾頭、野口敬志専任講師、阿部隆専任講師、千葉清英第一期卒業生の皆様に貴重なお話を伺いました。

(宮城県倫理法人会 広報委員会)



仙台広瀬倫理法人会

◆日時 平成24年5月14日(月) 18:30～19:30 ◆場所 KKRホテル

★仙台広瀬 経営者の集い

平成24年5月14日(月) 18:30～19:30 KKRホテルに於いて、経営者の集いを開催しました。福島県白河市倫理法人会会長の古川義孝様をお迎えし、テーマ「すべて心の思うままに」と題しましてご講話をいただきました。

父との話し合いもないまま若くして会社を継ぐ事になった古川様、平成10年8月の大雨で建て替えたばかりの会社は大変な被害に遭い多額の借金に。その時、父の落胆した姿を見て自分が責任を持って経営しなければと決心したそうです。しかし、以前からの父との衝突は絶えず、父を会社から追い出すような形になり次第に社員からの風当たりも強く、さらに当時高1の息子が退学して家出。何とかしなければならぬと数

年前に入会した倫理法人会を思い出して、倫理指導を受ける事に。活力朝礼を取り入れるなど指導された事を素直に実行してみると、良い結果が出てきて「実行」する良さがわかったという。ナポレオンの言葉「出来ると思った人だけが出来る」を例に、「何事も心が決める」という事を教えていただきました。そして、これからも「心の思うままに」生きていくという古川様でした。

講師の若さ溢れるパワーが、参加者へも伝わるような講話でした。講話の後は講師を交えての懇親会、少々飲みすぎた方もいらっしゃったようです。

(仙台広瀬倫理法人会 広報委員)



仙台若林倫理法人会

◆日時 平成24年5月16日(水) 6:00～7:00 ◆場所 ホテルレオパレス仙台



5月16日(第634回)のMSに宮城県倫理法人会の佐藤俊明副会長をお招きし、「倫理と出会ってわかった事!」というテーマでご講話いただきました。

現在、若林倫理法人会は120社を目標に活動しておりますが、MSへの参加人数増員も含め、思ったように上手くいくことばかりではありません。

そんな中で、佐藤副会長のご講話に出てきた行動内容は、非常に前向きで即実践出来そうな事ばかりで、私達も更にやる気が出てまいりました!!

「日本一聞き上手な単会づくり」や「いちえんからえいえんへ」のお話は、倫理活動のみならず普段の生活にも活かすべき素晴らしい内容でした。

また今回は、県の役員の皆様や他単会からのゲストの方もいらっしゃり、より充実した朝食会となりました!誠にありがとうございます。

会員一同、更なる発展を目指してがんばります!!

佐藤副会長を囲んでの朝食▶



(仙台若林倫理法人会 事務長 勝又久美子)

仙南倫理法人会

★平成24年度 倫理経営講演会開催

◆日時 平成24年4月5日(木) ◆場所 ホテル原田

さる4月5日(木)に仙南倫理法人会では、事業体験報告にさいたま市南区倫理法人会会長・手作りチーズケーキの店ダンテ店主の國武建明氏、講演 会講師に法人局・参事・法人アドバイザーの増田彰司氏の両氏を迎え平成24年度 倫理経営講演会を開催致しました。

復興元年の今年、甚大な津波被害を受けた当倫理法人会主催ということもあり、名取市長をはじめ127名と多くの来場者がいらっしゃいました。

「被災しゼロからのスタートで、倫理の実践を行うチャンスを得た。来場の方々にも貴重な体験を学んでほしい」

との佐藤会長の挨拶の後、國武氏の「病床の母親へ手紙を送り続けたことを通し、日々の掃除も含め継続が大事。60歳を過ぎても情熱と夢は続く」との事業体験報告をされました。

講演会では増田氏より「掃除で使う雑巾でも感謝して使えば『増金』、粗雑に扱えば『増菌』」と語り、雑巾の気持ちに立った「雑巾の詩」の他、テーマ『易不易』に沿った講演をされました。詩を詠む様に経営や職場のことをまとめ、会場は笑いあり涙ありの大盛況の内に幕を閉じました。

(仙南倫理法人会 広報委員長 中澤 勇)

仙台東倫理法人会

★平成24年度 仙台東倫理経営講演会

◆日時 平成24年5月9日(水)

◆場所 ホテルレオパレス仙台

平成24年5月9日(水) 平成24年度の倫理経営講演会を開催しました。昨年は東日本大震災により計画半ばで中止となり、2年ぶりの開催となりました。

「朝に活路あり」をテーマに事業体験報告では、イカリ消毒株式会社 代表取締役会長 黒澤眞次様より「資格は人生を創る～社徳が社格を創る～」と題して、取引先で起こした火災事故をきっかけに「危険物取扱主任者」の資格を取得し、その後「朝を征する者は人生を征する」の思いから朝の時間を活用して数多くの資格を取得して事業拡大につなげたことをご自身の体験を交えながらお話いただきました。続いての講演では

社団法人倫理研究所 法人局普及事業部部長 内田文朗様から「朝起き」「朝の活用」についてお話いただきました。苦難や苦しみは自分で創りだしてきたもので、それを解決解消するためには自分が変わらなければいけない、その自己革新の第一歩が「朝起き」の実践であり、実践して自らが変わったときにより出会い、チャンスに恵まれ環境が変わってくる。

企業においては「活力朝礼」による小さな変化の積み重ねが、企業を「集団」から「組織」へと総合力を高める。

今回の講演は、個人にとっても企業にとっても「朝」を活用することがいかに大切であり重要であるかをあらためて痛感した内容でした。

最後に講演をいただいた黒澤様、内田様をはじめ、講演会の準備にご協力していただいた皆様に感謝を申し上げるとともに、お忙しい中講演に参加していただいた皆様に心より御礼申し上げます。



江刺会長の挨拶



事業体験 黒澤眞次様



進行・図書紹介 細川正智副専任幹事



講師 法人局普及事業部部長 内田文朗様



満席の会場



懇親会 進行 菅井清浩親睦部長



来賓祝辞 宮城県倫理法人会副会長 斎藤元様



乾杯 小野義隆監査



講師を囲んで乾杯



講師と記念撮影



中締め 松本卓司専任幹事



実行委員長 佐野正人副事務長

仙台宮城野倫理法人会



▲朝礼の命は、テンポとタイミング。大きな声で挨拶、的を射た基本動作の習得に真剣に取り組む参加者。写真左から加藤、櫻井、菅原、沢田、和野、内田講師、平山、京、小野会員。

活力朝礼研修

4月19日

ホテルレオパレス仙台

朝礼は企業の縮図といわれる。それを単なる連絡、報告の場で終わらせず「教育の場」として活用する。日々繰り返し行なわれるだけに、その効果は大である。社風や人的質を更に向上させる

大きな力を秘めている朝礼。企業が元気になる「活力朝礼」の実践を学び、日常所作を美しく保ち、元気のある職場作りとして活用したいものである。

仙台宮城野 **629** MS モーニングセミナー
 ホテルレオパレス仙台 4月6日(金)
 (社)倫理研究所 法人レクチャー
 扇 功 様
「創業100年を目指して」
 ~その2難局に備える



▲扇 功様

昨年の3・11東日本大震災、宮城県も未曾有の災害に見舞われた。しかしながら当社は翌12日から業務を始動させることが出来た。

それはひとえに、非常時に備えた社員ひとり一人の高い防災意識への努力の賜ものであった。かねてより高い確率で、発生を予見された宮城県沖地震に向け、震災時の緊急対応を四半期ごとに見直しを重ねたマニュアルがものを言ったのだ。

職場の教養4月1日付け「会社との距離感」で紹介されている建設業を営むFとは我が社の事例。「準備した災害対策に則り社員は困難を押し出て入社し奔走。ただし、余震による不安解消のため、家族も共に入社できるよう職場を開放する配慮も。

企業と社員との信頼関係が功を奏し、迅速な対応と取り組みによって、F社の信用は以前にも増して高まった」と高く評価紹介されている。

早朝会議、連休前の大掃除、営業車両ワックスがけ、全てが社員の提案で実施されている。社長といえども例外なし「清掃日は私も、窓拭きに汗を流す」と自信の笑顔で話を締めた。

仙台宮城野 **631** MS モーニングセミナー
 ホテルレオパレス仙台 4月20日(金)
 (社)倫理研究所 普及事業部研究員
 内田 靖士 様
「ゼロに立つ」



▲内田靖士様

ほかと比べることから人の不幸は始まる。

人間万事塞翁が馬のごとく、人間の禍福は変転し定まりがないもの。されど、なにかにつけ過去や他者と比較してしまうのが人間。

中国沙漠緑化隊に参加した折り、

旅行会社T社長から心のありようを学んだ。集合空港を間違える参加者、寝台列車を乗車拒否の隊員等、海外旅行では想定外のアクシデントがよくある。しかし、T社長どんな時でも明るく振舞い、不安の欠片さえもみせない。むろん周囲に不平や不満を漏らすこともない。

まわりの心配をよそに、いかなる窮状に遭おうとも毎回奇跡的な解決が図られてしまうから不思議。

その秘訣は「いま何が出来るか」のみを考えるのだと言う。そのぶれない姿勢が魔法のような好

結果を招く。

ゼロに立って、大丈夫「きっと上手くいく」と腹をくくるが肝心。「これが良い」と全てを受け入れる度量を心得たいものである。



▲モーニングセミナー会場

仙台青葉倫理法人会

◆日時 平成24年4月16日(月) ◆場所 せんだいメディアテーク

★「倫理経営講演会」を開催！

4月16日(月)せんだいメディアテークにおいて、大村秀明 法人スーパーバイザー、埼玉県古河倫理法人会 田口精二 会長をお招きし、倫理経営講演会を開催いたしました。「朝に活路あり」「朝礼が人生を変えた」と題し、自らの実践による体験談を交えながら、ご講話頂きました。いかに朝礼が重要であり、いかに素直さが現状を打開するのか、熱のこもったお話！参加者はこれまでの倫理の実践の正しさ、更なる実践の必要性を感じることができたのではないのでしょうか。また、ゲスト参加いただいた方も多く、倫理の学びや実践に触れていただく良い機会となりました。朝を制する者は人生を制する！



(仙台青葉倫理法人会 広報委員長 佐藤道昭)

大崎倫理法人会

◆日時 5月12日(土) am9:00 集合 ◆場所 松島国際カントリークラブ

★大崎倫理法人会“今年初”ゴルフコンペ開催!!

今年初めてのゴルフコンペが開催され、5組20名という多くの方々に参加して頂きました。

当日期待した新緑の薫風-とは裏腹に終日の強風で皆苦戦を強いられました。そんな中、うまく風を読みスコアを取りまとめた菅野会長が見事優勝されました。

表彰式では、参加者からの賞品提供もあり両手に持ち切れないほどの賞品が行き渡り、>皆満面笑顔の解散となりました。

今回残念ながら参加できなかった皆さん、次回のコンペの案内がありましたら奮ってご参加宜しくお願い致します。



(大崎倫理法人会 広報委員長 今泉信吾)

6月のモーニングセミナー予定表

月	火	水			
4	5	6			
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
佐々木繁一様		仙 南	千葉恵弘様	「被災地に生きる～その位に素して行う～」	石 巻 市
瀧住寿彦様	①倫理研究所 法人スーパバイザー ②タキズミ 「運を良くする経営法」	登 米 市	小泉 洋様	①倫理研究所 法人レクチャー 登米市倫理法人会 会長 「倫理の良さを広めたい」	多 賀 城市
佐藤雅英様	佐藤まさひでクリニック 院長 「倫理法人会に入会して(幽界と私)」	大 崎			気仙沼市
会員スピーチ		仙台太白	保坂浩一様	宮城県倫理法人会 幹事長 仙台はせくら倫理法人会 相談役 「保坂式 発展繁栄論」	仙 台 泉
角張孝則様	仙台商業倫理法人会 専任幹事 仙台福祉清掃社 代表取締役 「砂漠緑化隊報告」	仙台青葉	大山文明様	㈱夢限 代表取締役 「完全燃焼してこそ、人生だ」	仙 台 若 林
秋葉賢也様	衆議院議員 「松下幸之助『最後の言葉』」	仙台広瀬	未定		さ くら
11	12	13			
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
伊藤俊郎様	宮城県倫理法人会 普及拡大委員長 登米市倫理法人会 相談役 「[万人幸福の葉] は私の証明書～想い願いは叶う～」	仙 南	中野里孝正様	①倫理研究所 法人アドバイザー 「老舗の訓えが未来をつくる～ ^{おし} 自助自立～」	石 巻 市
日下秀雄様	白石蔵王倫理法人会 幹事 日下建設 「ことば」	登 米 市	齋藤隆己様	①倫理研究所 法人アドバイザー	多 賀 城市
内田文朗様	①倫理研究所 理事 普及事業部 部長 「チャンスをつかむ」	大 崎			気仙沼市
齊藤隆己様	①倫理研究所 法人局参事 法人アドバイザー 「[倫理経営]が日本を救う(倫理実践と三つの健康)」	仙台太白	秋葉賢也様	秋葉けんや事務所 「松下幸之助『最期の言葉』」	仙 台 泉
松本光司様	①倫理研究所 法人局 普及事業部 北海道・東北副方面長 「恩意識を深める」	仙台青葉	伊藤俊郎様	宮城県倫理法人会 普及拡大委員長 登米市倫理法人会 相談役 伊右衛門 代表取締役会長 「[万人幸福の葉] は私の証明書～想い願いは叶う～」	仙 台 若 林
仙台広瀬倫理法人会 朝礼委員会	5人の経営者の旬の話・第三弾 1人10分×5人でキュッと濃厚な内容をお届け!	仙台広瀬	保坂浩一様	宮城県倫理法人会 幹事長 仙台はせくら倫理法人会 相談役 「保坂式、発展繁栄論」	さ くら
18	19	20			
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
会員スピーチ	「企業体験発表」	仙 南	原田善征様	宮城県倫理法人会 会長 ㈱ホテル原田 代表取締役 「感受性が運命を変える」	石 巻 市
会員スピーチ	「企業体験発表」	登 米 市	市川壽男様	陸奥総社宮崎欄宣 「暦の見方 ～干支あれこれ」	多 賀 城市
DVD 研修	万人幸福の葉 解説⑧ 8 明朝は健康の父、愛和は幸福の母(前編)～明朝愛和～	大 崎	高橋信雄様	白石蔵王倫理法人会 会長 「苦難は自己革新の特効薬」	気仙沼市
秋葉賢也様	仙台泉倫理法人会 会員 秋葉けんや事務所 「松下幸之助『最期の言葉』」	仙台太白	増田彰司様	①倫理研究所 法人アドバイザー 「継続は力なり」	仙 台 泉
沢田元一郎様	宮城県倫理法人会 副幹事長 ミカド電装商事 代表取締役 「どうせやるなら『心の経営』」	仙台青葉	朝倉幹雄様	①倫理研究所 法人スーパバイザー 「もっと良くなりしたい」	仙 台 若 林
荒井久満様	①倫理研究所 法人スーパバイザー 「良い結果は準備次第」	仙台広瀬	荒木良仁様	①倫理研究所 北海道・東北副方面長 「倫理経営」	さ くら
25	26	27			
講師	テーマ	法人会	講師	テーマ	法人会
松本光司様	①倫理研究所 法人局 普及事業部 北海道・東北副方面長	仙 南	亀山 紘様	石巻市長 「石巻市の現状と展望について」	石 巻 市
DVD 研修		登 米 市			多 賀 城市
松谷一夫様	宮城県倫理法人会 事務長 「経営理念の大切さ」	大 崎	松本光司様	①倫理研究所 法人局 普及事業部 北海道・東北副方面長	気仙沼市
伊藤長作様	宮城県倫理法人会 普及拡大委員長 仙台商業倫理法人会 幹事 仙台経営コンサルタント 代表取締役 「倫理で気付いた無能な私～万象我師～」	仙台太白	伊藤 孝様	宮城県赤十字血液センター 所長	仙 台 泉
河原木克尚様	法人レクチャー 青森県倫理法人会 副会長 医療法人康和会 理事 部長 「光り輝く経営者を目指して」	仙台青葉			仙 台 若 林
安藤俊介様	一般社団法人日本アフォーメンティ協会 代表 「経営者のための怒りの感情のコントロール、怒りを懐にする前に」	仙台広瀬	平野晴之様	①倫理研究所 法人レクチャー	さ くら

木	金	土	日
	1	2	3
	講 師 阿部由晴様 仙台中央倫理法人会 幹事 宮城木野園高校 サッカー部監督		
	テーマ 「 自利利他 」		
	法人会 仙台宮城野		
	講 師 深松 努様 仙台はせくら倫理法人会 会長		
	テーマ 「 東日本大震災復旧の最前線で得られた事 」		
	講師 くりはら		
	講 師 工藤賢司様 NPO 団体 家族会議広める会 理事長		
	テーマ 「 家族は企業をすくう 」		
	法人会 仙台はせくら		
7	8	9	10
講 師 佐藤 亨様 多賀城市倫理法人会 会長 樹下 芳子 代表取締役	講 師 菅原正和様 会員スピーチ 副事務局長 MS プランニング		
テーマ 「 倫理法人会との出会いと健康 」	テーマ 「 倫理に会ってわかったこと 」		
法人会 仙台中央	法人会 仙台宮城野		
講 師 宇都進一郎様 仙倫理研究所 特別研究員	講 師 佐藤伸也様 チェンソーカーバー		
テーマ 「 本物の経営 」	テーマ 「 チェンソーアートの魅力 」		
法人会 仙台東	講師 くりはら		
講 師 原田善征様 宮城県倫理法人会 会長	講 師 勝水与茶様 宮城大学 伊藤 駿様 東北福祉大学		
テーマ 「 感受性が運命を変える 」	テーマ 「 大学生としての社会との関わり方 」		
講師 白石蔵王	法人会 仙台はせくら		
14	15	16	17
講 師 松本光司様 仙倫理研究所 法人局 普及事業部 北海道・東北方面長	講 師 三好雅典様 仙倫理研究所 参与		
テーマ 「 後始末の効用 」	テーマ 「 家族の絆 」		
法人会 仙台中央	法人会 仙台宮城野		
講 師 DVD 研修	講 師 荒木良仁様 仙倫理研究所 北海道・東北方面長		
テーマ 「 万人幸福の栞 」解説 7	テーマ 「 倫理経営 」		
法人会 仙台東	講師 くりはら		
講 師 荒木良仁様 仙倫理研究所 北海道・東北方面長	講 師 松本光司様 仙倫理研究所 法人局 普及事業部 北海道・東北方面長		
テーマ 「 心を磨く 」	テーマ 「 清き耳で学ぶ 」		
講師 白石蔵王	法人会 仙台はせくら		
21	22	23	24
講 師 梅田 尚様 みらい創研グループ グループ本部営業担当	講 師		
テーマ 「 津波の後の今昔～災害ボランティアの現場からのレポート～ 」	テーマ		
法人会 仙台中央	法人会 仙台宮城野		
講 師 保坂浩一様 宮城県倫理法人会 幹事長 粉砕保坂 代表取締役	講 師		
テーマ 「 保坂式 発展繁栄論 」	テーマ モーニングセミナー休会・イブニングセミナー		
法人会 仙台東	講師 くりはら		
講 師 鈴木北斗様	講 師 矢野哲夫様 仙倫理研究所 法人局 チェアラー 北海道札幌倫理法人会 総務役 船大スベックコーポレーション 代表取締役		
法人会 白石蔵王	テーマ 「 苦難福門 」		
	法人会 仙台はせくら		
28	29	30	
講 師 千葉裕貴様 仙台中央倫理法人会 会長 藤川 泰子 チェアラー	講 師 加藤慶太様 宮城県監査委員事務局 次長兼総務課長		
テーマ 「 砂漠緑化隊報告 」	テーマ 「 震災からの地域づくり 」		
法人会 仙台中央	法人会 仙台宮城野		
講 師 菅原正和様 仙台宮城野倫理法人会 副事務局長 MS プランニング 代表取締役	講 師 三浦康伸様 河北新報社若柳支局長		
テーマ 「 震災後の復興まちおこしについて 」	テーマ 未定		
法人会 仙台東	講師 くりはら		
講 師 佐藤敏子様 佐藤 志花 花としいし 女性委員会委員長 高橋ルミ様 佐藤 志花 花としいし 女性委員会副委員長	講 師 秋葉賢也様 衆議院議員		
テーマ 会員スピーチ	テーマ 「 松下幸之助『最期の言葉』 」		
法人会 白石蔵王	法人会 仙台はせくら		

再開します オフィスに倫理を!

この度、宮城県倫理法人会では普及活動の一環として、倫理法人会の活動方針を取り入れた、会員章プレートの頒布を再開致します。

このプレートをおフィスに掲示するだけで、お客様・お取引先に倫理法人会をアピールし、社員に対しては倫理法人会の意義をわかりやすく伝えることができます。

倫理経営を目指す会員の皆様のお申し込みをお待ちしています。



申込用紙(コピーしてお使い下さい)

FAX:022-222-1527

会社名 _____

氏名 _____

電話 _____ FAX _____

単会名 _____ 倫理法人会

注文枚数 _____ 枚

お問い合わせ

宮城県倫理法人会事務局

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14 HANIX IIビル 6F
TEL:022-222-7910 FAX:022-222-1527

企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を

■倫理法人会とは…

現代は、一時的な不況対策というような姑息な手段や小手先だけの経営術で生き残れる時代ではありません。企業を真に活性化するのは、経営に当たるトップの姿勢、つまり心次第です。

倫理研究所の提唱する純粋倫理を企業に導入することによって、真の経営理念を確立していただき、職場に明朗・愛和・喜働の精神を満ち、職場を意欲に燃えたヤル気集団・実践集団にして、企業の繁栄に寄与することを目指すのが法人会制度です。

■各種の活動

- モーニングセミナー
- 経営者の集い
- 倫理経営講演会